

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: BizMobile株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須 2016/6/17
- 事業所・事業				
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須 BizMobile株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須 2009年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)	7年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須
	事業所数(国内、国外)		1(国内1)	
	主な事業所の所在地		東京(1ヶ所)	
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須 1.携帯向けのアプリケーションの企画、調査、設計、開発及び運営 2.携帯向けのサービスの企画、調査、設計、開発及び運営 3.携帯を利用したセキュリティサービスの企画、調査、設計、開発及び運営
- 人材				
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須 代表取締役 小畑 至弘
			代表者写真	選択 記述無し(*)
			代表者年齢	選択 記述有り(*)
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択 記述有り(*)
7	役員	役員数	選択 記述有り(*)	
		役員氏名及び役職名	記述有り(*)	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択 記述有り(*)
- 財務状況				
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須 2016年3月期:402,367,000円
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択 記述有り(*)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須 2016年3月期:66,000,000円
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述有り(*)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択 記述無し(*)
15	財務信頼性	上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択 記述有り(*)
16		財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択 記述有り(*)
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択 記述無し(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。  
(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は(一財)マルチメディア振興センターから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: BizMobile株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	記述有り(*)
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	記述有り(*)
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	記述有り(*)
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	記述有り(*)
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	記述有り(*)
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	記述有り(*)
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等文書類の名称	必須○	機密文書管理規定
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	選択	記述有り(*)
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		記述有り(*)
26		ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、文書類がある場合はそれらの文書名	必須	有り: SLA
			上記の文書類の経営陣による承認の有無		有り
- サービス基本特性					
27	サービス基本特性	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	BizMobile
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2011/3/29
			サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		2011年9月5日 Android 2.2対応 2011年11月1日 iOS 5対応、iDEP改定対応 2013年9月20日 iOS 7のすべての機能に対応し、完全な公私分離を実現する次世代MDMを開発 2013年11月27日 世界初、ドキュメント共有システムからMDM機能を利用 2014年12月1日 「キッキングの効率化」「運用の効率化」を大幅に改善 2015年3月13日 VPP (Volume Purchase program) ライセンス一括購入に対応 2015年3月13日 DEP (Device Enterprise program) MDM自動登録に対応 2015年3月13日 Android 3.0/4.0追加項目(カメラ禁止、SDカード禁止)に対応 2015年7月13日 Android 5.1対応 2015年11月2日 Windows 10に対応 2016年4月8日 デバイス単位にアプリケーションを配布する機能に対応 2016年4月8日 Apple Configuratorなしで設定を作成する機能を追加 2016年6月1日 DEP利用端末の自動再登録に対応
29	サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つの中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は(一財)マルチメディア振興センターから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: BizMobile株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
30	サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 ＜500字以内で記述＞	必須	<p>仕事で使うデバイスを、遠隔から、簡単に、一元管理できるMDMクラウドサービスです。キックオフ作業を劇的に軽減する世界初の『仮想デバイス同期機能』と『テンプレート機能』を実装し、IT管理者の負担である初期設定や設定変更、新機能追加時のキックオフ作業、日々の運用監視作業を簡素化します。数万台を超える運用に耐える国内唯一のMDMとして、上場企業の7割に導入されています。</p> <p>・モバイルデバイスの主要なOS (iOS/Android/Windows) すべてに対応しています。 ・優れた8つの機能により、MDMとしての高品質機能、利用者の利便性、そして携帯端末管理にかかる経費を劇的に削減します。 ・一般的なMDMにはない、設定・配布自動化機能と双方向通信機能制御機能を持ち、端末の状況に応じた強制インストールや機能制御を実現しています。</p>
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 ＜前記述と合わせて500字以内で記述＞		
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲 (契約内容に依存する場合はその旨記述) ＜200字以内で記述＞	必須	MDMの機能は多岐に渡り、毎年各OSのバージョンアップ時に大幅に追加・変更。削除されるため、カスタマイズに対応すると将来的な機能追加に対応できなくなります。そのため、MDMの全ての機能をAPI化し、他のアプリ (スマートフォンやタブレット、パソコン) やサービス (他のパッケージ製品やクラウドサービス) から、必要な時に、必要な機能だけを自由に利用できるようにすることで、カスタマイズの要望に柔軟に対応できています。
32	サービス (事業) 変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期 (事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	パートナーに対して60日前までに通知
		告知方法		パートナーに対し、書面、電子メール、Webにて通知。
33	サービスの 変更・ 終了	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	無し
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策 (代替サービスの紹介等) の有無と、対応策がある場合はその概略		無し
		契約終了時の情報資産 (ユーザデータ等) の返却責任の有無		無し
34	サービス (事業) 変更・終了に係る問合せ先	問合せ先 (通常の苦情等の問合せ窓口も含む) の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有り パートナー向け窓口 ・メール: 24時間受け付け ・電話: 平日10:00～19:00
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	サービスパートナー契約に基づき、毎月、所定の方法により認識した台数を算出し、契約書に定める単価を乗じた金額を請求する。
		固定部分の課金方法		サービスパートナー契約に基づき、毎月、所定のコストを請求する。
36	サービス料金	初期費用額	必須	サービスパートナー契約に基づき、所定の一時費用を請求する。
		月額利用額		サービスパートナー契約書に基づき、所定の月額利用額を請求する。
		最低利用契約期間		1年
37	解約時ペナルティ	解約時違約金 (ユーザ側) の有無と、違約金がある場合はその額	必須	有り サービスパートナーは最低利用契約期間満了までの期間分
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限 (何日・何ヶ月前か) を記述	必須	有り 2ヶ月前 (書面で通知)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は (一財) マルチメディア振興センターから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: BizMobile株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	【2015/6/1 ~ 2016/5/31】稼働率実績値: 99.999%
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン3、95%以上
		サービス停止の事故歴		【2015/6/1 ~ 2016/5/31】停止実績・運用障害: 1件
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	記述有り(*)
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		記述有り(*)
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	記述有り(*)
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	記述有り(*)
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	有り 収集時には必ず利用目的を明示しています。
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	記述有り(*)
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		記述有り(*)
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	日次バックアップ
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	8世代を保管している。
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	記述有り(*)
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	記述有り(*)
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	添付される。
49	サービス利用量	利用者数 申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数 (同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	選択	記述有り(*)
50		代理店数 申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数	選択	記述有り(*)
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	主要ソフトウェアの名称	必須	BizMobile Go!
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	仕事で使うデバイスを、遠隔から、簡単に、一元管理できるMDMクラウドサービスです。キッティング作業を劇的に軽減する世界初の『仮想デバイス同期機能』と『テンプレート機能』を実装し、IT管理者の負担である初期設定や設定変更、新機能追加時のキッティング作業、日々の運用監視作業を簡素化します。数万台を超える運用に耐える国内唯一のMDMとして、上場企業の7割に導入されています。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は(一財)マルチメディア振興センターから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: BizMobile株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
52	主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	BizMobile株式会社
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	記述有り(*)
		標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		記述有り(*)
54	死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	下記の監視項目のポーリングを行い、閾値を越えた場合には、指定されたアドレスにメールが送信されます。 【対象、インターバル、検出条件】 ・サーバ監視、1回/秒、タイムアウト1分 ・Push通知状況、5分、ログ出力停止 ・Web監視、2分、タイムアウト
		障害時の利用者への通知時間		重度障害の場合、発生検知から1時間以内にメール通知
55	障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有り
56	セキュリティ	時刻同期	必須	NTP
57	ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	有り (メール、ダウンロードファイル、外部提供/利用に係わるサーバ)パターンファイル更新間隔:1日以内
58	記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	有り 利用者アクセスログ、システムログ等:削除予定無し
59	セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	ベンダからのセキュリティ情報提供を定期的に確認し、該当する場合は直ちにテストプロセスを経た上で適用する
- ネットワーク				
60	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	インターネット回線のため、弊社の責任範囲外としている。
61	推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	無し
62	推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	デバイス設定管理者用PC ・Mac PC(推奨) ・Windows PC システム管理者用PC ・Mac PC(推奨) ・Windows PC 管理対象端末 ・iPhone iOS 4.0以上(4.2以上推奨) ・iPad iOS 4.2以上(3Gは4.3以上) ・Android 2.2以上 ・Windows 7以上
		利用するブラウザの種類	必須	・Windows PC(Chrome, FireFox, Internet Explorer) ・Mac PC(Safari)
63	ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	有り
64	不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	有り
65	ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	記述有り(*)
66	ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○	有り

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は(一財)マルチメディア振興センターから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。



# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: BizMobile株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容		
67-70	セキュリティ	ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	ID/パスワード、クライアント証明書によって利用者を認証する。	
		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○	有り	
		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須	有り サーバ証明書による認証のほかに、SSLでの接続を必須としている。	
		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択	記述有り(*)	
- ハウジング(サーバ設置場所)						
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須	専用建物	
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北))	必須	日本(関東)	
73		耐震・免震構造	耐震数値	耐震数値 免震構造や制震構造の有無	必須	Amazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。
			Amazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。			
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須	有り 電力供給時間はAmazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。	
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須	有り 給電ルートはAmazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。	
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須	有り 連続稼働時間はAmazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。	
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須	有り ガス系消火設備	
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須	有り	
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須	Amazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。	
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須	Amazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。	
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択	記述有り(*)	
82	セキュリティ	入退館管理等	入退室記録の有無と、入退室記録がある場合はその保存期間	必須	有り 保存期間はAmazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。	
			監視カメラの有無と、カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		有り 監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間はAmazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。	
			個人認証システムの有無		有り 2要素認証を2回以上	
83	セキュリティ	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	Amazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。	
			保管管理手順書の有無		Amazon社のAmazon Web Serviceを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、内容を特定することができない。	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は(一財)マルチメディア振興センターから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

# ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0163-1208, サービス名称: BizMobile, 事業者名称: BizMobile株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述 (破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	記述有り(*)
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	電話: 03-5207-9801 電子メール: support@bizmobile.co.jp
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	電子メールは24時間受付可。 電話は、平日10:00-19:00(緊急の場合に限る) ※土日、祝日、国民の休日および年末年始(12/30~1/4)を除く。
		メンテナンス実施時間		サービス窓口用のシステムは導入していません。
87	サービス窓口 (苦情受付)	サポート対応	選択	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)
				放棄率の実績値(単位:%)
				応答時間遵守率の実績値(単位:%)
				基準時間完了率の実績値(単位:%)
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	・本ソフトウェアに関する機能、性能、仕様等に関する質問への回答 ・障害発生時の甲の作業(原因調査、影響範囲の調査など)への遠隔による協力
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話もしくは電子メール
89	サービスダウンしない仕組み	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	コールドスタンバイによる冗長化
90	サービス保証・継続	事故発生時の責任と補償範囲	必須	有り BizMobileサービスレベル(目標値)
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期 (1カ月前、3カ月前、6カ月前、12カ月前等の単位で記述)	必須○	・バージョンアップ(不定期、パートナーと事前協議の上時期を決定) ・不具合対応(事後通知) ・セキュリティメンテナンス(毎週日曜午前0:00-1:00)
		告知方法		電子メール
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有り 実施確定後1時間前までに通知
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有り
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	有り

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(\*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は(一財)マルチメディア振興センターから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。